

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

気候変動によって大規模化する災害に対して防災・減災、国土強靱化を目指し安心・安全な国土を構築するためのインフラ整備に貢献していく。また、あらゆるレベルでの総合的な災害リスク管理の対策と実施を行う。発災直後の復旧・復興についても自治体と連携しながら迅速に対応していく。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	社用車のハイブリッド車化を100%にし、電気自動車に順次移行	ハイブリッド車 2023年40%→2026年60%
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	平均残業時間の削減	平均残業時間 2023年11時間→2026年10時間未満
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	社内研修会の定期的な実施	社内研修会 2023年2回開催→2026年4回開催

<パートナーシップ>

大規模災害時に国、県、市からの災害支援協定に基づき災害現場の調査を迅速に対応するために関係機関と連携を深めている。

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
 ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
 ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関するこれまでの重点的な取組み及び指標に係る進捗状況>

三側面 (分野に☑)	取組みの状況	前期の指標	実績
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	・社用車のハイブリッド車化を100%にし、電気自動車に順次移行 積載量が必要な現場車に適合するハイブリッド車がないため、目標未達成となった。	現在、全車両の40%がハイブリッド車対応のため、10年で全車両対応とし、そのうち3割を電気自動車とする。	2023年 ハイブリッド車40%、電気自動車0%
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	・平均残業時間の削減 社内独自のシステムで残業時間を管理者が管理して短縮するように努めて、指導を徹底的に行い、目標達成できた。	平均残業時間20時間とするため、業務の効率化及び設備投資等で3年以内に実現する。 社員の増員も3年以内に5人増員して一人当たりの業務量を減らして一人当たり生産性5%上げる。	2023年 平均残業時間11時間、社員2人増員
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	・社員のスキルアップを図る 社内研修会の実施及び資格取得経費の支援をおこない、目標達成できた。	定期的な研修会の実施と教材及び受験費用の全額負担を3年以内で実践する。	2023年 資格取得費支援制度導入

・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。